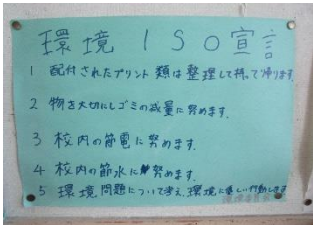







令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

< 南関町立南関中学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>環境委員会で、年度当初に委員長から今年度の取組目標について環境委員の生徒たちに伝えた。それを受けて、各クラスの環境委員がクラスの生徒たちに周知を行い、今年度がスタートした。</p>
行動	<p>【ペットボトルキャップ、プルタブ集め】</p>     <p>【バケツに水を入れて掃除。無言清掃の取組】</p> <p>無言清掃5つの心</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・素直な心 ・我慢する心 ・気づく心 ・思いやりの心 ・感謝の心 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み前に各クラスで呼びかけ、9月から2週間、ペットボトルキャップとプルタブの回収を行った。 ・クラスごとに集めた重さを委員会で測定し、結果を校内放送で流し、生徒たちに伝えた。 ・例年行っているため、たくさん集めている家庭も多くあり、例年以上のペットボトルとプルタブを回収することができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・清掃時は、水の節約のためにバケツに水を入れて掃除した。 ・バケツに水を入れて雑巾がけをすることは、徹底できた。 ・伝統となった黙清掃では、環境委員長・副委員長が掃除を見て回り、気づきを委員会活動のなかで発表した。その意見を聞き、各クラスの環境委員が帰りの会で周知することで、全校生徒で取り組むことができた。 ・放送委員長が掃除の始まりと終わりの合図を毎日同じ時刻に行うことで、全ての掃除場所が時間通りに動くようになり、その結果、無言清掃の徹底につながった。

	<p>【職員室前のリサイクルボックスと職員室内の分別ごみ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室前のリサイクルボックスには環境委員が使用しない紙ごみを持ってくることで委員の意識の向上が図られた。 ・用務員の先生が中心となり、職員室内のゴミの分別を分かりやすく図示したり、段ボールや紙ごみを資源回収時に出したりして、ゴミのリサイクルにつなげることができた。
記録		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス対抗で回収できた重さを記録したことで、クラス内で呼びかけが活発に行われた。 ・40kg以上の回収を目標にしていたが、52.2kgのペットボトルキャップを集めることができた。
見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・校内の様々な場所に、「環境ISO」を促す掲示物を貼っているが、古くなっている。また、生徒たちからもっと分かりやすい言葉に変えたいとの意見が出ているため、委員会で作成をしていく。

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒議会のなかで、環境委員長から環境ISOについて全校生徒に伝えることができた。 ・本校の校内研究テーマの1つとして、SDGsについて取組んだこともあり、環境に対する意識が高くなりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ISOについてのポスターを作成し、校内に掲示をすることで、生徒たちが自然と環境について考えることができるようにする。 ・PTAの方々と生徒たちが連携して取り組める活動を推進していく。